新鳥栖駅東側まちづくり検討調査　業務概要

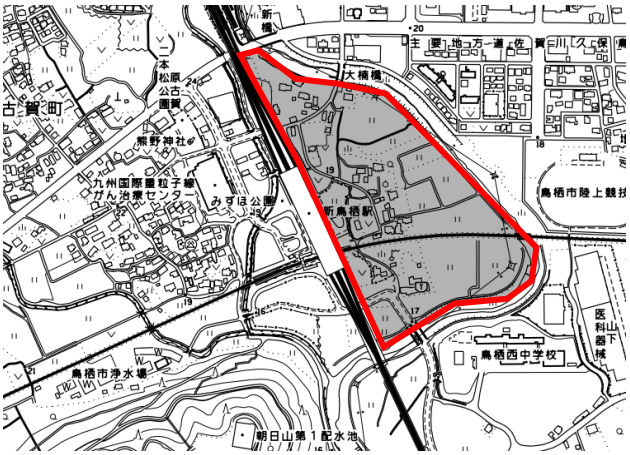
＜課題＞

新鳥栖駅周辺については、都市計画マスタープランにおいて広域交流拠点と位置付けており、観光やビジネス等の広域的な交流を促進するため、拠点性を活かした市街地の形成に努めることとしている。新鳥栖駅西側については九州新幹線鹿児島ルート開業に合わせて土地区画整理事業が実施済みだが、新鳥栖駅東側については新幹線駅の広域性や拠点性といったポテンシャルが十分に生かされておらず、都市的土地利用に向けた市街地整備の検討が必要である。

＜目的＞

新鳥栖駅東側の土地（約 13ha）について、上位・関連計画やまちづくりの方向性を踏まえながら、計画的に良好な市街地整備を行うために、現況の問題点の抽出やまちづくりを進めていく上での課題を設定し、基本構想の作成およびその実現方策を検討することを目的とする。

▼調査区域イメージ図



＜調査期間＞

令和７年４月上旬契約予定～令和７年１０月３１日まで